

部落差別のない社会へ

## 7月は同和問題啓発強調月間です！

県では、同和問題(部落差別)の早期解決を目指して、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、差別をなくすための取り組みを行っています。部落差別は、基本的人権に関わる問題です。私たちの力で、部落差別のない社会を実現しましょう。

## 全九州水平社創立100年

大正12(1923)年5月1日、ここ福岡において、九州全域に部落解放運動を展開するために全九州水平社が創立されて、今年で100年です。この100年の節目に、部落差別のない心豊かな社会について改めて考えてみましょう。



全九州水平社創立大会記念写真

## 講演会

## あたらしい部落問題 ※申込不要

場所 クローバープラザ(春日市原町)

日時 7月22日(土) 13時30分~15時

同時開催  
特別展「日常の中にある部落差別  
~"マイクロアグレッション"ってなに?~」  
7月22日(土)~9月30日(土)

問(公財) 福岡県人権啓発情報センター  
☎092-584-1271 FAX092-584-1273



フリーライター  
かど おか のぶ ひこ  
角岡 伸彦さん

部落差別  
解消推進法

現在もなお部落差別が存在すること、そして部落差別は許されないものであるとの認識の下に、これを解消することが重要な課題であると定められています。

また、部落差別の解消に関する基本理念や国・地方公共団体の責務などが定められています。

福岡県  
部落差別解消  
推進条例

部落差別解消推進法を踏まえ、平成31年3月に施行しました。

本条例には、県の責務として、相談体制の充実や教育および啓発などの県が取り組む施策を定めています。

問 人権・同和対策局 調整課 ☎092-643-3325 FAX092-643-3326

皆さんの思いを温かい食事にして届けます

## 福岡県子ども食堂応援プロジェクト

家庭や学校以外のこどもの居場所となっている子ども食堂。県では、子ども食堂の活動をより多くの人に知っていただき、支援の輪を広げるため、クラウドファンディングでのふるさと納税による寄附を募集しています。



## 子ども食堂ってなあに?

NPOや地域のボランティアなどが、無料または少額で子どもたちに栄養のある食事や温かな居場所を提供しています。

子どもたちが安心して過ごすことができる居場所であるとともに、食事や遊び、学習支援などを通して、子どもと地域住民が交流する多世代交流の場としての役割も担っています。

ふるさと納税で子ども食堂を  
応援して、子どもたちを  
笑顔にしよう！

皆さまから頂いた寄附金は、子ども食堂で調理される県産食材の購入や保管、運送に係る費用に活用します。

温かいご支援を  
お待ちしております



寄附はふるさと  
チョイスから！



受付締切 8月14日(月) ※本社が県外に所在する法人向けの企業版ふるさと納税も募集中です！

問 子ども未来課 ☎092-643-3577 FAX092-643-3765